



三種町

議会だより

「国民文化祭はじまる」

平成26年
10月15日 発行

第35号

パッチワークコンクール受賞作品



もくじ

一般会計・各特別会計決算 監査委員の意見	2～3
決算委員会審議	4～6
財政健全化審査の報告	7
補正予算の内容、議案一覧 議案審議、議案採決結果 ..	8～10
一般質問（6人が登壇）	11～16
請願・陳情、研修報告	17
町民と議会との懇談会報告 ..	18～23
次代を担う企業、編集後記	24

発行：三種町議会

編集：議会広報編集特別委員会

〒018-2401 秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

決算

～全会計決算を認定～

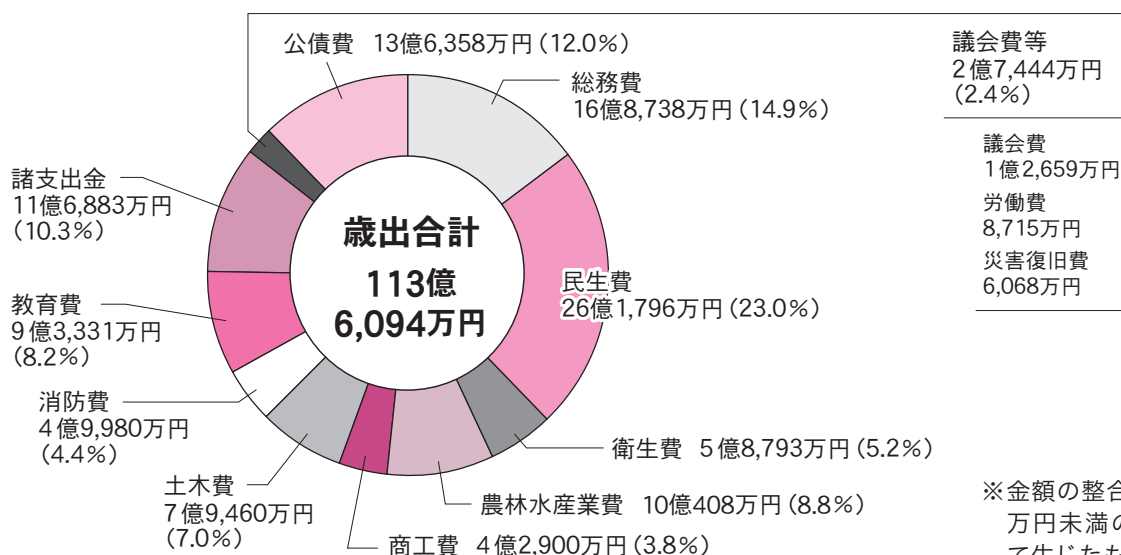
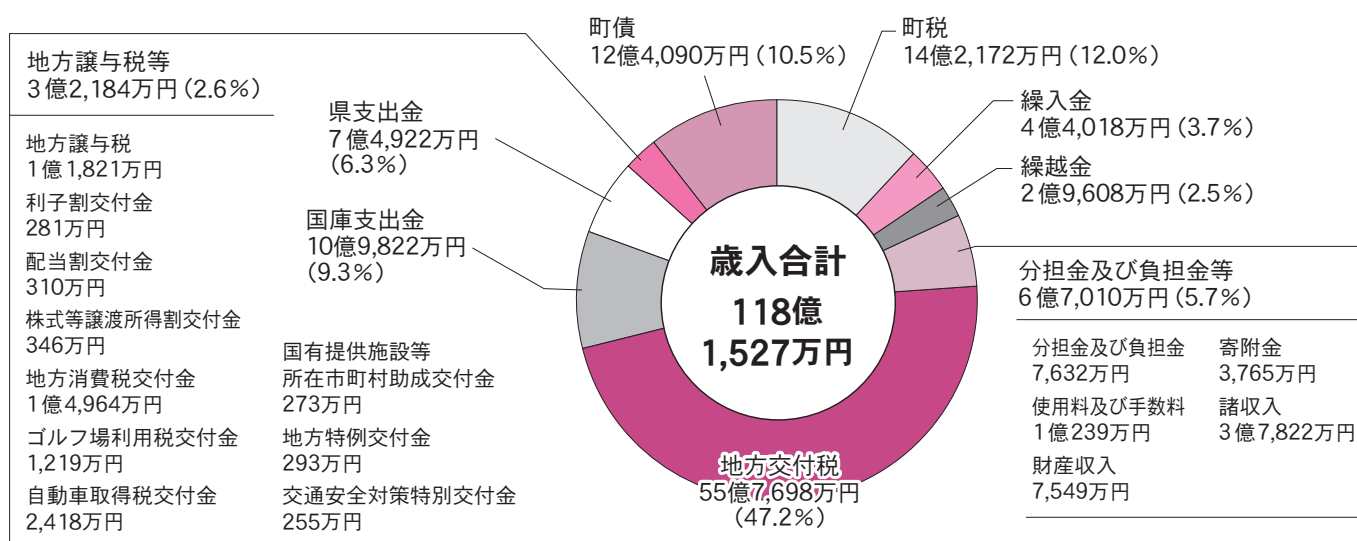
9月定例会は9月9日から19日まで11日間の会期で開きました。審議した議案は、平成25年度一般会計決算認定など32議案で、そのすべてを原案の通り認定・可決しました。

また、一般質問は6議員が登壇して町政をただし、請願・陳情は3件を採択、1件を趣旨採択としました。

平成25年度一般会計の決算状況は、歳入118億1千527万円に対して歳出113億6千94万円、差引額4億5千432万円であるが、実質収支額は2億2千587万円、黒字決算となった。

一般会計決算認定議案の審議では、「財政は少しずつ好転しているが、硬直化していることに変わりはない」など反対討論があり、起立採決となったが、賛成多数により認定となり、すべての会計決算が認定された。

* 一般会計決算 *



※金額の整合性に欠けるのは、万円未満の端数処理によって生じたものである。

全ての会計が黒字

● 平成25年度 各会計決算総括表 ●

(単位：千円)

会 計 名		調 定 額 ①	歳入決算額 ②	歳出決算額 ③	差 引 額 ②－③	不能欠損額 ④	収入未済額 ①－②－④
一 般 会 計		12,054,774	11,815,271	11,360,947	454,324	45,630	193,872
特 別 会 計	国民健康保険事業勘定	2,814,199	2,713,710	2,549,414	164,295	16,368	84,120
	後 期 高 齢 者 医 療	173,972	172,536	172,325	210	588	848
	簡 易 水 道 事 業	229,816	226,338	223,018	3,320	0	3,477
	公 共 下 水 道 事 業	637,329	583,946	577,080	6,866	1,571	51,811
	農 業 集 落 排 水 事 業	177,263	174,604	174,480	124	48	2,610
	介護保険事業勘定	2,674,268	2,667,205	2,652,082	15,123	2,048	5,013
	介護サービス事業勘定	28,002	28,002	26,317	1,684	0	0
	衛 生 処 理 事 業	26,525	26,525	22,820	3,705	0	0
	温 泉 事 業	43,918	24,917	23,527	1,389	0	19,000
	国民健康保険診療施設勘定	0	0	0	0	0	0
	特 別 会 計 合 計	6,805,296	6,617,788	6,421,067	196,721	20,625	166,882
総 合 計		18,860,071	18,433,060	17,782,015	651,045	66,255	360,755
水 道 事 業	収益的収支	－	122,008	147,358	△ 25,350	－	－
	資本的収支	－	61,971	114,498	△ 52,527	－	－

※ 金額の整合性に欠けるのは、千円未満の端数処理によって生じたものである。

監査委員の意見

代表監査委員 神 馬 均

収入未済については、一般会計・運用基金・水道事業会計を含めると3億9,804万5千円となっており、昨年度より3,528万5千円減少している。

また、時効により不納欠損した金額は6,625万5千円となっており、昨年度より3,273万4千円少なく処理された。昨年度は公共下水道事業と農業集落排水事業で処理さ

れた欠損金3,888万1千円が新たに発生したため、これを勘案すると、逆に450万円ほど多く処理されている。

納税環境が年々厳しさを増す状況ではあるが、町税の現年度分収納率は96.9％と昨年度を上回り、保育料や住宅使用料、給食費についての収納率は99.3％と大幅に改善されている。

これからも、貴重な自主財源の確保という点からも、収納率の向上、収入未済額の減少及び不納欠損額の減少に努めるよう要望する。

決算委員会審議

平成25年度各会計歳入歳出決算の12議案は、各常任委員会に付託され、委員会が所管する決算内容について審議が行われました。その結果、総務常任委員会と教育民生常任委員会は「原案のとおり認定すべき」、産業建設常任委員会は「意見を付して原案の通り認定すべき」とし、本会議に報告しました。

総務 常任委員会

問 太陽光発電電利用により山本総合支所の電気料は、下がっているのか。

答 支所への設置後、8月以降の土日分の使用しない日の余った電力を売電しており、電力使用量は率にして7%程度下がっている。

問 地方交付税の平成26年度増額見込みはあるのか。

答 交付税が増額となる要素がないため、増額となる見込みはない。

問 合併特例に伴う交付税はやはり減額となるのか。

答 国が方向転換しない限り減少していく。地方交付税枠もほとんど減っている状況にある。

問 森岳駅乗車券販売収入は増えているのか。

答 平成25年度はデイスティネーションキャンペーンがあった関係からか、乗車券取扱料は、7〜8万円程度増えている。

問 ふるさと納税の件数は何件か。また、他市町村の対応はどのようなになっているか。

答 平成25年度は、25件のふるさと納税があった。お礼に関しては5千円以上寄付していただいた方にジュンサイ、メロンなど3千円相当の品物を贈っている。対応は各市町村さままでであるが、大館市は定期的にPRしているようだ。

問 今年度の納税額は、約40万円である。今後は、要綱を制定し、11月1日から1万円以上の寄付者には半分程度のお返しをしたいと思っている。

問 定住奨励金の実績はどうなっているのか。

答 昨年度は、3家族と個人1名が定住奨励金の該当となり合計で70万円支出している。

問 たばこ税が増えた要因は。

答 昨年度は1億500万円だったが、1億1千400万円に増えている。これは、一本あたりの税率が上がったため増えたものである。

問 町全体の土地評価額はどうか。

答 町全体で評価額は、下がっている。ちなみに平米あたりの額は、田…98円、畑…21円、山林…15円、宅地…3千224円となっている。

問 コンビニ収納は納税貯蓄組合に影響があるのか。

答 税務課では口座振替を推奨しているところであり、口座振替により納められた分についても納税貯蓄組合の手数料に加えられることになる。

問 町民税は増えてきているのか。米価の影響はあるのか。

答 平成24年産米に比べ平成25年産米は2千321円下がっている。

問 このため農業所得は、平成25年分では4億8千300万円の減となっている。平成26年分については、もっと



総務常任委員会審議

問 下がるのではないかとと思われる。現年度分の不納欠損は、どのような理由なのか。また、時効中断作業は行っているのか。

答 納税者の居所不明などのため不納欠損したものである。時効中断については督促などを行い収納に努めている。

教育 民生 常任委員会

問 街路灯電気料は、LED化する
ことでどれくらい縮小され
るか。

答 平成27年度から4分の1程度に
なる見込みである。LED化の
工事は9月いっぱい終了する予定
である。

問 高齢化にあわせて清華苑の控
室を和室から洋室に改修でき
ないものか。

答 ロビー部分の冷房機能が低下し
ているため、改修が必要である
が、それにあわせて見積もりをとっ
て検討したい。

問 後期高齢者医療特別会計への
一般会計からの繰り入れは
年々増加するのではないか。

答 今後、後期高齢者医療への加入
者は増加することが見込まれ
る。また一人暮らしや高齢者世帯に
は軽減制度があるので、一般会計か
らの繰り入れは増加すると見込まれ
る。



教育民生常任委員会審議

国民健康保険加入者の推移（平均）

	世 帯 数	加 入 率
	被保険者数	
平成24年度	3,123世帯	44.50 %
	5,540人	29.20 %
平成25年度	3,043世帯	43.40 %
	5,349人	28.65 %

※割合は人口に対する加入率

問 国民健康保険加入者の前年比
は。
答 次の表のとおりである。

問 アレルギー対策は万全か、児
童生徒に対する指導はどう
か。また、必要とする児童生徒数
は。

答 食器、食缶すべて別のものを使
用し、さらに色分けし他の児童
生徒にも一目でわかるようにしてい
る。調理の際も細心の注意を払って
いる。

対象児童生徒数は平成25年度は26
人で、そのうち中学生が6人であっ
たが、ひとり一人アレルギーが異な
る。最近の傾向として複数のアレル
ゲンを持っている児童生徒が増えて
いる。

問 琴丘地域に格納されている町
有バスについて、土日祝日な
ど使われていないように見受ける
が、地区の子どもたちの行事やス
ポーツ行事などに利用出来ない
か。

答 児童生徒や学校に関すること
は、教育委員会が管理している
スクールバスが優先される。総務課
所管のバスは利用状況や目的にあわ
せて対応することになるので、児童
生徒に関することは、まず教育委員
会に問い合わせしてほしい。

問 自立支援給付費が増えたよう
だがその理由は。

答 障害者に対する支援について
は、利用者が大幅に増加したわ
けではなく、障害の支援区分が上
がってきていることが主な要因であ
るが、サービス報酬単価の増加等、
複数の要因が重なったことも理由と
して考えられる。

問 長寿祝い金は何人分か。また
100歳以上は何人か。

答 平成25年度は11人、平成26年度
は5人分である。現在100歳以上
は16人で男性1人、女性15人である。

問 同じ地区に住んでいても、ご
みの収集回数を増やしてほしい人
や、回数はこのままで減量化
を奨めるべきなどの意見がある
が、当局はどう考えるか。

答 自治会長会議などでも、通年週
2回収集してほしいという意見
が多いことから、ごみ減量化運動と
あわせて検討中である。

問 地域密着型介護施設の今後の
整備計画は。

答 アンケートを実施し現在取りま
とめ中であるが、町内に関して
は利用者と施設のバランスはとれて
いると思う。今後は核家族化、高齢
化の状況にあわせたサービスが必要
と思われる。

産業建設 常任委員会

問 指定給水装置工事事業者で届出している町内業者は何社あるのか。

答 25社であるが、ほとんどが宅内の給水管工事がメインである。

問 大館市に汚泥処理施設が建設されるが、三種町はどのようなにかかわっていくのか。その負担分はどのくらいになるのか。

答 町の一部地区のし尿・浄化槽汚泥を能代山本広域の処分場で処理しており、その能代山本広域が大館市に建設予定の汚泥処理施設事業に参画する計画になっている。町として汚泥処理施設事業には直接かかわっていないため、負担は今までどおりである。

問 農林水産業施設災害復旧費の委託料、測量設計業務4千万円は何力所あるのか。

答 内訳は、農地農用施設に係る測量設計委託で件数は合計で8件。地区数は今計画しているのは70

件、測量しているのは75件である。

問 秋田を元気に！夢プラン実現事業の財源構成は、県が12分の4、町が12分の2、残りが自己負担であるが、町負担分を12分の4にして、県・町・自己負担3者が同じ割合にできないのか。

答 県から協賛調助成してほしいということになっており、12分の1を12分の2に上げていくが、検討する。

問 石倉山バンガローは何棟あるのか。また、年間使用実績は25件だと聞いたが、使用期間は1年間か。

答 1棟2千730円の料金で、10棟である。使用期間は4月から10月までの7か月である。小学6年生のサマーキャンプの際に多く使用される。

問 町営住宅使用料滞納分は、どのようにして徴収しているのか。現年度分、過年度分の徴収は毎月行っている。過年度分の滞納者には誓約書に基づき徴収日・金額を決めて、夜間を問わず、月々の納付額を決めて徴収している。

問 各種滞納額はいろいろな部署が所管しているが、関係部署が一堂に集まり話し合いの場はあるのか。

るのか。庁舎内の連携が必要ではないか。

答 税務課の収納対策室でまとめており、そこで必要があれば関係担当者を集めて情報交換をしている。また、収納対策室で一括して各種税金・料金を徴収するような体制はできていない。

問 J-GAPのジュンサイと普通のジュンサイは、どう違うのか。

答 J-GAPの規定は、きちんと記録を取ることが重要なことであり、それを外部から認定してもらい、認定されたものを販売するという外部から安全性と信頼性を認定してもらう点が違うと思っている。

問 近年の大雨により、大きい河川も小さい河川も氾濫する。浚渫などの要望に対応はできないのか。

答 町で準用河川として指定しているのが14河川で、その内13河川が琴丘地域にある。山本地域にはなく、八竜地域は役場の前の河川が対象となっている。河川費は、そのほとんどが琴丘地域の集落内準用河川の浚渫や草刈りに要する予算となっているが、要望に対しては現状を見ながら対応したい。

意見

現在、町営住宅使用料の滞納は建設課職員が徴収しており、各種滞納の公金は担当課がおのおの徴収に出向いている。年数回、収納対策室が会議を開き滞納者の情報交換を行っているようだが、各種公金の徴収業務の負担は大きいと思われる。

そこで、収納対策室は各種公金の滞納分を一括管理し、各課と共同して徴収することを提言する。効率的・効果的な徴収をするために職員を増員し、差し押さえや財産調査など、思いきった滞納整理を進め、全体を指揮統括するためにも副町長を室長とし、各種公金の収納率向上、滞納額の縮減に努めるべきである。



産業建設常任委員会審議

財政健全化審査 公営企業経営健全化審査

平成25年度決算の財政健全化審査と公営企業経営健全化審査が、監査委員の意見書を付して議会に報告されました。

◆平成25年度 財政健全化審査

健全化判断比率	平成25年度	早期健全化基準	備 考
①実質赤字比率	▲ 3.15%	13.95%	前年度 ▲ 3.44%
②連結実質赤字比率	▲ 8.01%	18.95%	前年度 ▲ 9.57%
③実質公債費比率	13.5%	25.0%	前年度 15.7%
④将来負担比率	32.8%	350.0%	前年度 52.1%

注意) 実質赤字比率・連結実質赤字比率は、実質収支が黒字の場合、負の値で表示しています。

個別意見

①実質赤字比率

平成25年度実質赤字比率は、普通会計（一般、衛生処理事業特別）では各会計とも実質収支は黒字であるため、負の値で表示となり、前年度に引き続き良好な状態にある。

②連結実質赤字比率

平成25年度連結実質赤字比率は、各公営事業会計を含めた連結実質収支は黒字であるため、負の値で表示となり、前年度に引き続き良好な状態にある。

③実質公債費比率

平成25年度の実質公債費比率は、平成20年度が公債費償還のピークであったため、対前年度比2.2%減の13.5%と大幅に改善してきている。また、起債許可団体基準である18.0%を下回る状況であり、改善傾向にあると言える。

④将来負担比率

平成25年度の将来負担比率は、行財政改革に伴う公債費の抑制（地方債現在高の減）及び財政調整基金の大幅積み増し（充当可能財源等の増）により対前年度比19.3%減の32.8%と改善している。早期健全化基準の350.0%を下回っていることから、前年度に引き続き良好な状態にある。

是正改善を要する事項

是正改善を要する事項は特にないが、実質赤字比率・連結赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率など、概ね改善が認められ良好な状況と言える。今後も各比率の影響を見据えた綿密な公債費等管理を徹底した財政運営の改善に努められたい。

◆平成25年度 公営企業経営健全化審査

公営企業会計の名称	資金不足額・剰余額	資金不足比率	備 考
水道事業会計	161,207千円	－ %	前年度 181,790千円、－ %
簡易水道事業特別会計	3,320千円	－ %	前年度 12,450千円、－ %
公共下水道事業特別会計	6,839千円	－ %	前年度 3,814千円、－ %
農業集落排水事業特別会計	124千円	－ %	前年度 2,713千円、－ %
温泉事業特別会計	1,391千円	－ %	前年度 456千円、－ %

注意1) 資金不足比率の『経営健全化基準』は、『20.0%』です。

注意2) 『資金不足額・剰余額』は、資金不足の場合、負の値で表示しています。

個別意見

①資金不足比率

- 平成25年は、全ての会計において黒字であり、資金不足額が発生していないため、良好な状態にある。
- 各公営企業会計においては、独立採算の原則に照らした経営計画により、当該比率に留意のうえ、健全で適正な経営運営に努力されたい。

②資金不足額・剰余額

- 事業収入の減少が見込まれる中、事業運営の抜本的な見直しが今後必要と思われる。

是正改善を要する事項

特になし。

ゆめろん改修設計費を計上

平成26年 9月定例会補正予算の内容

会 計 名	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
●一般会計	100億4,513万1千円	5億4,062万1千円	105億8,575万2千円
【主な歳出】			
事 業 内 容	事 業 費	財 源	
ゆめろん改修工事設計費	408万 円	一般財源	
中間管理機構事務室工事設計費	270万 円	一般財源	
八竜農村環境改善センター暖房設備改修工事費	1,001万7千円	一般財源	
昨年の台風18号による林道災害復旧費（袖の沢地内）	700万 円	一般財源	
健康管理システム改修費	148万5千円	一般財源	

●特別会計

会 計 名	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
国民健康保険事業勘定特別会計	26億4,857万8千円	147万4千円	26億5,005万2千円
後期高齢者医療特別会計	1億7,383万4千円	20万9千円	1億7,404万3千円
簡易水道事業特別会計	2億1,671万4千円	331万9千円	2億2,003万3千円
公共下水道事業特別会計	6億 322万6千円	683万7千円	6億1,006万3千円
農業集落排水事業特別会計	1億5,281万1千円	12万3千円	1億5,293万4千円
介護保険事業勘定特別会計	27億8,731万3千円	2,384万5千円	28億1,115万8千円
介護サービス事業勘定特別会計	2,724万7千円	118万5千円	2,843万2千円
衛生処理事業特別会計	2,129万8千円	370万4千円	2,500万2千円
温泉事業特別会計	2,547万 円	6万3千円	2,553万3千円

●水道事業会計

区 分	補正前の予算総額	追 加 補 正 額	補正後の予算総額
収益的収入	1 億3,065万7千円	3,537万9千円	1 億6,603万6千円
収益的支出	1 億6,143万2千円	702万2千円	1 億6,845万4千円
資本的支出	8,522万7千円	136万1千円	8,658万8千円

条例の制定・改正			平成25年度決算													区分	審議された議案一覧
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	水道事業会計決算の認定	国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定	温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定	衛生処理事業特別会計歳入歳出決算の認定	介護サービス事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定	一般会計歳入歳出決算の認定	議案名		
															賛成	採決状況	
17	15	15	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	15	賛成	採決状況
0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	反対	
可決	可決	可決	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	結果	

議案審議

町税条例の一部を改正する
条例の制定

問 他町に比較し税の減免措置が少
ないように思う。

軽自動車税が上がることにに対し町
独自の減免措置を講じる考えはある
か。

答 今回の標準税率の改正について
は1.5倍が基礎となっているが、
軽トラックなどについては国として
も1.25倍に抑えた結果であり減免に関
しては難しいと考える。

特定保育・保育施設及び特定
地域型保育事業の運営に関す
る基準を定める条例の制定

問 国で決定したことをそのまま提
案しているようだが、これでは
保育の格差が持ち込まれる要因とな
る。保育所での事故を未然に防ぎ、
保育の質を向上させることが一番大
事であることから、有資格者の配置
をすべきではないか。
また、このことを町民に周知する



お祭りワッショイ（浜口保育園）

ため、町はどのように対応するのか。

答 条例は最低限の基準を示してい
ることから、町は、それを上回
る対応をしていきたい。
また、現在町では子ども・子育て
支援事業計画策定中であるが、策定
終了後に、広報等活用し対策してい
きたい。

一般会計予算の補正

問 財政調整基金の積立について
は、全員協議会で、35億円が目
額、だと話していたが、いつまで積
み立てるのか。是非、有効な使い方
をしてもらいたい。

答 基金の積立については、米の概
算金の大幅な減額があり税収関
係も厳しいことなど、先行き不透
明な社会情勢を考えれば、「できるだ
け早く」ということになる。

指定管理施設の修繕の内訳は。

答 ①グリーンぴあの電話機交換、
冷蔵オープンショーケースの修
繕②ゆうばる機械室のろ過ポンプ
等の修繕③青春館の玄関風除室雨
漏り、自動火災報知器の修繕、音響
設備の不具合、ホームにつながる扉
の修繕である。

問 空き家対策について、相続人に
面会するなど町としてもう一步
踏み込んだ対応が出来ないものか。

答 相続人がすでに町外に転出して
いたり、相続が孫の代にまで及
んでいる場合など、その取扱いに苦
慮しているのが現状であるが、粘り
強く対応していきたい。

問 老朽化した建物を解体すること
で、宅地への課税が高くなると
聞くとが実際はどうなのか。

そ の 他	平成26年度予算													契約	条例の制定・改正	
	議員の派遣（全国町村議会 広報研修会）	平成25年度一般会計継続費 精算報告	水道事業会計予算の補正	温泉事業特別会計予算の補正	衛生処理事業特別会計予算 の補正	介護サービス事業勘定特別 会計予算の補正	介護保険事業勘定特別会計 予算の補正	農業集落排水事業特別会計 予算の補正	公共下水道事業特別会計予 算の補正	簡易下水道事業特別会計予算 の補正	後期高齢者医療特別会計予 算の補正	国民健康保険事業勘定特別 会計予算の補正	一般会計予算の補正	工事請負契約の締結 （ゆうばる宿泊棟改修工事）	町営住宅の設置及び管理に 関する条例の一部を改正す る条例	町税条例の一部を改正する 条例
17	—	—	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	14	17	17	13
0	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	4
可決	報告	報告	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

※議長は採決に加わりません。

策の阻害要因となつているところである。国は税制改正を検討中であるので、今後動向を見ていきたい。

また、山本地域にある就業改善センターは、老朽化が著しく危険と考
えられるが町の対応は。

就業改善センターは、現在イベントの際に使用する物品を保管したりしているが、今後、関係課と検討したい。

問 八竜地域釜谷自治会の防災に関する自主的な取り組みがマスクに取り上げられたが、そのような活動に対し、町としての支援が足りないように思われるがどうか。

答 釜谷自治会の防災事業は元気づくり支援事業での取り組みであった。この事業は今年度で終了するが、終了後も地域を支援する事業

ゆめろん改修について

問 ゆめろんとさざなみ苑の浴場を共有した場合のシミュレーションを示すべき。9月に開かれた全員の協議会の際、意見が出た地下タンクの交換も検討して欲しい。

答 いずれについても3月議会に提案したい。

問 ゆめろんの温度は現在25度であるが、温泉の温度としては極めて低い。この温度についてどのように考えるか。

答 エアポンプでくみ上げた場合、25度前後だが、年々下がってはいる。

問 ランニングコストについて、不
明確なところが多すぎるのでは
ないか。

また、ゆめろんの経営とさざなみ

苑という福祉施設との兼ね合いについての見解は。

答 ランニングコストについては、浴場がひとつ減る分として年間925万円削減される見通しである。

また、ゆめろんとさざなみ苑の経営は別々を考える。



改修設計予算が計上された「ゆめろん」

議案採決結果

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議 案 名	議 員 名																	結 果
	1 大澤 和雄	2 宮田 幹保	3 安藤 賢藏	4 三浦 敦	5 清水 欣也	6 工藤 秀明	7 高橋 満	8 石井 秀基	9 鈴木 一幸	10 小澤 高道	11 成田 光一	12 加藤彦次郎	13 後藤栄美子	14 堺谷 直樹	15 伊藤 千作	16 平賀 真	17 児玉 信長	
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
町税条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	可決
一般会計歳入歳出決算の認定	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	認定
一般会計予算の補正	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

※採決の際に賛否が分かれた議案を掲載しています。

※議長は採決に加わりません。

防災(災害対策)専門監の育成について



平賀 真
議員

平賀 全国各地で大規模災害が頻発している。町では災害に対応できる専門的知識、例えば気象予報士資格等を有する職員がいるのか。

県や市では災害危機管理監を設置して防災活動を徹底しているところがある。消防署や自衛隊OBを任用してはどうか。

また、避難勧告・避難指示発令等緊急を要する場合、秋田県や気象庁の発表を待たず独自に発令する場合のマニュアルはどのようなになっているのか。

町長 現在、三種町には災害に対する専門的知識を有する職員は配置していないが、三種町消防署長を総務課参事として併任発令している。今後適切な人材がいれば、危機管理監(アドバイザー)

的な形で設置したいと考えている。

今後、秋田県や消防学校に対し砂防等土木専門職員以外の職員に向けての一定の専門知識の習得を目指した研修会等の開催を要望していく。

避難勧告等を発令する場合のマニュアルには、避難準備情報避難勧告・避難指示など、災害時の状況に応じて基準が定められている。

平賀 町内には土砂災害危険箇所が何か所あるのか。また、その近隣住民に災害危険箇所であることを周知徹底しているのか。



町内の土砂災害危険箇所

町長 調査が終了した山本地域のみ県が平成26年3月28日に告示している。

急傾斜地の崩壊指定区域は23か所、土石流の指定区域は8か所となっている。

その他の地域についても調査終了後順次告示される。

町民生活課長 県と町で危険箇所指定された集落に出向き説明会を行っているが、参加者が少なかった。

今後は、危険区域に関わる関係集落もあるので、集落別説明会を開催するかチラシ等で再度周知したい。

小・中学生に対する携帯電話等の指導は万全か

平賀 児童生徒が携帯電話等の利用に絡んで犯罪被害者になったり、ライン等で利用時間が増えて生活習慣が乱れたり、いじめの要因になる事例が多発し、社会問題になっている。

児童生徒に対し学校ではどのような指導が行われているのか。

のか。

教育長 小・中学校の場合は学校への携帯電話の持ち込みを原則禁止している。

インターネット・メール等の利用についての指導は町内全校が学校全体計画に位置づけており、教科等の授業での指導、学校集会・全校集会による指導、外部講師を招へいしての指導など、情報モラル教育を実施している。

また、保護者に対しても、学校報や関係資料を活用したり、PTA等で外部講師を招へいして啓発等を行うなど、教職員、児童生徒、保護者間で共通理解を図り、インターネットやメールの安全な使い方や危険防止等について指導している。

この他に「ジュンサイ生産増量と

圃場拡大」について質問しました。

不適正な町民税の課税方法を止めよ

～世帯分離をして認められなかった扶養控除分の町民税を還付すべき～

清水 三種町では、平成23年度から、町民税を課税するに当たって、納税義務者が世帯分離をしている場合



清水 欣也
議員

扶養控除の適用を除外することになっている。それでも、平成22年度までは認めていたものまで平成23年度になって適用外としているものがある。しかし、このような取扱いは、地方税法の規定や国、県の考えを逸脱した不適正なやりかたである。今回の問題は、住民にとつ

て切実な問題である。今後は、これまでの不適正な課税のしかたを止め、あくまでも税法や国の通達の基準に従って賦課業務を行うべきだ。

町長 扶養控除の取扱いについては、税法に則り賦課業務を行ってきたが、議員の指摘のとおり一部に不十分な取扱いがあったので、平成26年度以降は、地方税法の規定や国から示されている所得税基本通達をより厳密に運用して個人住民税の賦課業務を行っていくことにする。

ことは否定できない。
清水 不適正なやり方によって扶養控除が適用されなかったものがあるのだから、それらは還付しなければならぬと思うが、どうか。
税務課長 税法の考え方からすれば当然のことであるので、適正な対応をする。

清水 住民基本台帳法と税法はそれぞれ別の目的や趣旨によって成り立っているものであり、住民基本台帳法の手続きである世帯分離と町民税の扶養控除を結び付けて課税額を判断するのは、不適正であると思うがどうか。

町長 運用の仕方の問題がある場合には、当然に正しい運用の仕方で行っていくということになる。
清水 町長は、去る3月議会定例会で「今までやってきたやり方はこれからも変えない」と答弁したが、その発言を撤回すべきだと思うが。

所得	生命保険料控除	分離長期
所得	地震保険料控除	株式等譲
所得		上場株式等
収入金額	障・寡・勤	先物取
所得金額	配偶者控除	特例肉
の他	配偶者特別控除	税額
所得	扶養控除	所得
一時所得	基礎控除	均等
	所得控除計	合

町民税・県民税 税額決定通知書

この納税通知書により、各納期の税額をそれぞれの納期納めてください。

納税決定通知書

税務課長 住民基本台帳法と税法を一緒にして議論することになると、そこに齟齬が生じる可能性がある

大曲地区内の国道7号線歩道拡幅工事に伴う問題点、課題点について、今後どう対応していくのか

一般質問



成田 光一
議員

成田 この工事は、地元住民にとって長年の要望事項であり早期実施を願うものであるが、いくつかの問題点がある。

一つ目は、拡幅工事により、大曲コミュニティセンターの駐車場が狭くなることである。二つ目は、道路事情が良くなることで通行車両のスピードが上がり、交通事故の危険性が危惧されることである。三つ目は駐車場の隣と上大曲地区にある沼が狭くなり、土砂が堆積しやすく大雨時には氾濫する可能性があることである。これらについては、今回の拡幅工事を好機ととらえ、今後、定期的に浚渫が行いやすくなるように、沼の改良工事をするのが理想と思うが、どう考えているか。

町長 今回の工事は歩道の拡幅工事がメインとなっており、センターはもとより、その後する各エリアにおいても出入口が奥深くなるため、車両等の出入りについては現状より安全性が見込める計画となつている。

また、隣接する沼については、昨年度より埋め立て部の施工方法等を関係者と協議を行い、ことし5月に行われた用地補償説明会時に能代河川国道事務所側から計画図面にて説明を受けて、これを了承している。

なお、これらの沼の管理については、今後も水利関係者や地域住民の方々と協議を重ねていくつもりである。

成田 歩道拡幅に伴い移転を余儀なくされる家もある。町として分譲地の準備や斡旋などを考えるはないのか。

町長 町が国に事業の要望をした当時から、移転が必要になる方々に対しては希望する場所に移転できるよ

うに協力する方針で進めてきた。今後も移転者の希望に沿えるような方法で協力対応したいと考えている。

平成20年度に国土交通省、三種町、地域関係者らによる大曲萱刈沢地区道路環境を考える懇談会から始まって、ようやく今回の事業実施までこぎ付けることができた。今後は事業の早期完成に向けて地域関係者のご協力をお願いしたいと考えている。



大曲コミュニティセンターに隣接する沼と拡幅場所

他に
「三種川河口付近（八郎湖承水路との合流部分）の浚渫」
「砂丘温泉ゆめろんの改修工事」
「三種町議会議員一般選挙の日程」
について質問しました。

本町における観光の振興策について



石井 秀基
議員

石井 近年の人口減少は非常に重要な問題と考える。観光振興をどう進めるのか伺う。

町長 少子高齢化と人口減少社会は全国的な流れであるが、観光協会、関係企業、町民との協働関係を強化し、観光に携わる町民の理解を得ながら、情報発信を組織的に進めていきたいと考えている。

石井 森岳温泉にあったホテルが倒産してから2年が経とうとしている。温泉街が暗くなり、観光客からも「寂しい温泉地」と言われている。森岳温泉再生に向け、今後どう取り組んでいくのか。

町長 2年前の大型ホテル倒産のときは、観光協会

主催で森岳温泉魅力づくり推進委員会を設立し、森岳温泉郷の活性化計画を報告書にまとめた。倒産したホテルの所有者や関係者の取り組みを見守りつつ、対応を検討しなくてはいけないと思う。ソフト面では、町内関係者とともに協力しながら取り組んでいきたい。

石井 観光の基盤となる房住山、羽根川森林公園、石倉山公園の整備が遅れていると思うがどうか。また釜谷浜の砂流出が進んで遊泳区域が減少していると思うが、対策はあるのか。

町長 房住山は登山道の確認を行い、森林管理署とも協議しながら、整備の実施を検討している。羽根川森林公園は湖水館周辺の遊具などの施設は県の森づくり税事業を利用し修繕を行っている。石倉山公園は管理棟バルコニー修繕の予算を計上している。釜谷浜の水深は遊泳区域のところでは最大3.5メートルで、昨年よりさらに深くなった。

ている状況である。海水浴期間中の監視人を6人体制とし、講習会の受講や監視用具の整備などをして、事故がないよう監視していく体制を整えている。

石井 10月に国民文化祭が当町でも開催されるが、全国から訪れる観光客への対応は万全か。

町長 会場での対応は、観光協会の物産振興部会と協働で食事の提供とお土産品の販売を行うとともに、流しジュンサイは土曜日に開催する。また宿泊先の案内、看板整備、情報発信に努める。

石井 商工観光交流課は、観光イベント、宣伝、物販など行いながら特に7月のサンドクラフト、8月の森岳温泉まつりと続く時期は多忙であると推測する。課の人員は不足と思うが、増やせないか。

町長 人員の増員は、平成26年度当初で考えていた



再生が望まれる森岳温泉街

が、かなわなかった。平成27年度には増員を図っていき

他に

「住居敷地内における物品等の堆積による他の住民への迷惑行為」

「土砂災害の未然防止の対応」

「町の無形文化財の保護と育成」

について質問しました。

2014年産米の価格暴落への対応を



大澤 和雄
議員

町長 8月下旬に秋田県の米の生産数量専門部会が開催され、平成25年産米の在

主食である米の需給と価格の安定を図るのは政府の重要な役割である。町はJA等、関係機関と連携して、政府が緊急に過剰米処理を行うよう、早急に対応すべきではないか。

三種町の場合、1俵2千円減で平成26年産米の作付目標面積で試算すると6億7千335万円の減少となる。

大澤 2014年産米の秋田県産は9月上旬に決定される予定だが、関東・北陸方面のJAの概算金が2千円から3千円の値下がり、全国的な価格暴落が懸念されている。昨年のあきたこまち1等米で1万1千500円の概算金であったが、このままでは1万円割れが必至である。

庫が多いこと、8月末の作況がやや良と発表されたことにより平成26年産米の米価が低落傾向である旨の報告があった。指摘された水準の米価では、農家はもちろん、町の経済にとっても痛手となることから、他市町村と連携して国などに働きかけていきたい。また、米価は需要と供給が大きく影響することから、生産調整の役割は大きいものと認識している。平成30年に生産数量目標の配分が廃止されても、需給のバランスが大きく崩れないように、米と何を



出来秋を迎えた圃場

組み合わせることとが農家の利益につながるか、県の関係会議で検討することにしている。本町としても動向を注視するとともに、関係機関等に強く働きかけていく。

難聴者用ヒアリングループの設置を

大澤 庁舎内の窓口などで、あいまいなやりとりをなくし、不安を解消し、大切な手続きや説明を正確に行うためには難聴者用ヒアリングループが有効である。これは難聴者の聞こえを支援する設備で、周りの騒音・雑音に邪魔されずに目的の音・声だけを正確に聴き取ることができるものである。これは受付カウンターから大ホールなどの

大きいエリアでの対応が可能である。

高齢者や難聴者のバリアフリーという観点からも、庁舎内の窓口や会議室、施設等へ設置していくべきではないか。

町長 現在、役場庁舎内の窓口では、耳の不自由な方が来庁した際には、わかりやすくゆっくりと大きな声での説明や、時には筆談による会話をしながら、意志疎通に努めている。

難聴者用ヒアリンググループについては、広いエリアをカバーする常設型は床下へのグループ線埋設工事が必要であり難しいが、卓上型などは比較的簡易な機材で設置が可能なものもあり、その活用効果を含め、今後調査検討し判断したい。

他に

「農協・農業委員会の農業改革」

「新たな広域連携制度による集約化などの問題」

について質問しました。

地方交付税算定替えの削減幅の緩和と活用



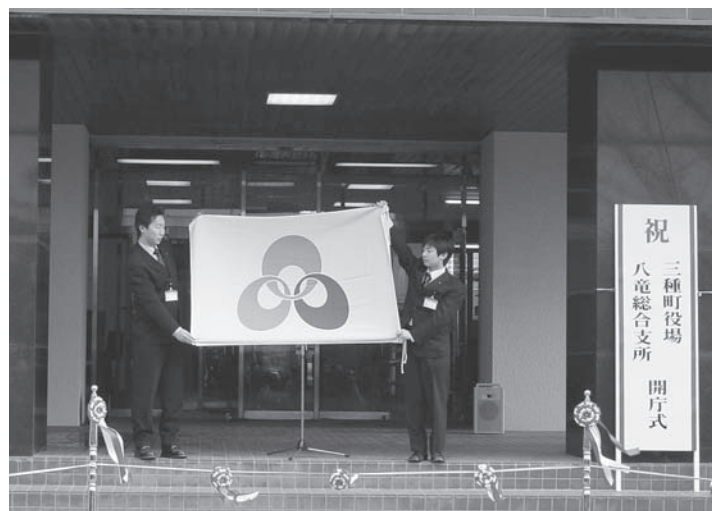
伊藤 千作
議員

伊藤

国は、今年の予算から合併市町村の地方交付税について、算定の特例期間の終了が迫る中で削減幅を全国平均で、ほぼ半分程度に緩和する方向を示した。

その基本的な考えとして、

平成の合併により市町村の面積が拡大するなど、市町村の姿が大きく変化したことが考えられる。特に合併市町村では、災害時の拠点としての支所の重要性が増すなど、合併時点では想定されなかった新たな財政需要が生じており、これらを算定に反映するとして、支所の維持費用を、人口8千人



平成18年3月の合併による開庁式

現本庁舎からの距離16キロメートルを標準に、職員22人とした算定になる。

平成26年度から実施される支所に要する経費の算定では、本町の地方交付税額はいくらになるか。その財源を各種政策に活用すべきである。

町長

総合支所に要する経費の算定額は、普通交付税の合併算定替え終了後、一本算定となつてから加算される経費であり、本町は平成33

年度から対象になる。平成32年度までは旧町村分を合算した合併算定替えで算定することになるので、平成26年度では、この経費が普通交付税に加算されて交付はされていない。

なお、参考までに算定した額は、約1億4千万円となる。平成26年度の一本算定では3億2千600万円、合併算定替えでは約2億2千600万円となり、一本算定で約1億円多く算入になる。しかし、普通交付税の総額では、平成26年度分を一本算定で算定すると約39億9千900万円となり、平成26年度の交付額50億4千700万円と比べ、約10億円以上の減額となる。

公営住宅入居時の保証人の免除規定を

伊藤

入居したいが、保証人が見つからない人もいる。入居する時には、多くの自治体では保証人を1人または2人立てることを義務づけ

ている。保証人は入居者が家賃を滞納した場合、入居者にかわって納入する義務がある。しかし、1996年に、当時の建設省は公営住宅管理標準条例についてを通過し、保証人が免除される場合を示している。それは首長が特別の事情があると認めたときで、保証人を必要としないことができる規定もある。

当町としても免除規定を設定したらどうか。

町長

当町の町営住宅の設置及び管理に関する条例でも、この条項を設けている。現在、町営住宅に入居する際に提出してもらう町営住宅入居申請書に連帯保証人1人をお願いしている。これは家賃滞納時に入居者にかわり家賃を納めてもらうことも一つではあるが、入居者の身元保証人的な役割もある。

他に

「ごみ袋に広告の掲載を」について質問しました。

請願陳情 審査報告

請 願					
件 名	請 願 者 氏 名	紹介議員	付託委員会	結 果	
農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願	農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木万喜夫	伊藤 千作 大澤 和雄	産 業 建 設 常任委員会	趣旨採択	
政府による緊急の過剰米処理を求める請願	農民運動秋田県連合会 委員長 鈴木万喜夫	伊藤 千作 大澤 和雄	産 業 建 設 常任委員会	採 択	

陳 情				
件 名	陳 情 者 氏 名	付託委員会	結 果	
軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本久美子	教育民生常任委員会	採 択	
消費税10%への引き上げの中止を求める意見書の提出についての陳情	秋田県商工団体連合会 秋田民主商工会 会長 小玉 正憲	総 務 常 任 委 員 会	採 択	

秋田県町村議会議員研修会

8月8日に秋田県市町村会館で町村議会議員研修会が開催され、県内町村の議会議員、議会事務局職員168人が参集した。

講演では2名の講師が登場し、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏が「これからの町村議会のあり方」を演題に、大都市議会では限界のある町村議会での協働の可能性について講演された。また、時事通信社解説委員・政治評論家の田崎史郎氏が「これからの政局・政治はどう動く」と題し、安倍政権の今後のゆくえや経済政策の展開などが説明された。



秋田県町村議会広報研修会

8月8日に秋田市ルポールみずほを会場に町村議会広報研修会が開かれ、県内町村議会の広報編集委員、議会事務局職員92人が参集した。

研修会では、広報コンサルタントの芳野政明氏を講師に迎え「議会報の基本と編集技術」と題し講演が行われた。

講演では、議事公開を徹底するためにも自治体の課題や施策、さまざまな意見・論点を整理して広報を発行することで政策情報を提供し、住民と共有することが重要であることが唱えられた。



はじめての取り組み、町民とヒザを交えて意見交換！

町民と議会との懇談会報告



三種町議会がはじめての取り組みとして開催した「町民と議会との懇談会」は町内9カ所で開かれ、84人の住民が参加しました。

ここでは、懇談会の中で出された意見や提言に対する議会と町からの回答について報告します。

琴丘地域

橋本五郎文庫の位置づけと評価は

町民 鯉川地区交流センターにある橋本五郎文庫の位置づけは。

議会 小学校統合の利活用をどうするかを検討した結果、鯉川地区交流センターとして活用することになり、その中に橋本五郎文庫がある。現在3万冊近く所蔵されているが、すべて寄付されたもので、鯉川地区の有志が運営にあたっている。図書館としての利用や無償での講演など、年間5千人が利用している。町外からは廃校舎の利活用の模範だということで研修に來ているなど全国的に三種町のPRになっており、波及効果はあると思っている。

※山本地域と八竜地域でも同じ質問があった。

自治会の要望内容を議会でも把握すべき

町民 自治会長会議の内容や自治会要望について、議員は把握しているか。

議会 現在、町からの情報提供はないが、議会にも提供するように、今後町当局に要請する。

町からの回答 議会から要請があれば提供する。

元気づくり事業や国民文化祭への議員の認識が不足

町民 元気づくり事業や国民文化祭のことについて、議員の認識が薄いのではないか。

議会 予算審議の過程で、これらの重要性については十分認識している。

地方再生に町・議会・町民が一体となるべき

町民 国では地方再生を今後の日本の重要なテーマにしているが、当局・議会・町民が一体となって取り組むべきではないか。

議会 いずれ国の方向が示されると思うので、それを受けて町でも積極的に取り組むことになると思う。

農業立町へ積極的提言を

町民 農業立町の町なので、組織づくりや後継者づくりについて議員方からも積極的に提言し、町政を動かしてほしい。

議会 町当局と意見交換していく。

早急に耕作放棄地対策を

町民 中山間地の耕作放棄地対策を

棄地対策を具体化させるため、町・JA・集落営農組織・認定農家等が早急に行動を起こすべきではないか。

議会 農地中間管理機構の進め方が明確でないところもあるので、今後町当局と協議していきたい。

次回の懇談会はテーマを決めて開催しては

町民 議員との懇談会は良い試みである。次回は事前にテーマを示し、それに基づいて話し合いをした方がよいのではないか。

議会 今後の検討課題にしたいと思う。

EM菌の活用で環境保全

町民 EM菌の活用や、コンポストによる堆肥化を通して環境保全に取り組むべきではないか。

議会 そのことについては、議員も勉強していきたい。

秋北バスの利用状況は

町民 秋北バスの利用状況、費用対効果はどうなっているのか。また、大型バスでなくても小型バスでもよいのではないか。

議会 協議会（バス会社、周辺住民等で構成）で協議している。

バス路線への要望

町民 大曲バス停留所の琴丘く能代線と釜谷・五明光線との連絡時間が合わないため、バスの待ち合わせに苦労している。

議会 状況を確認してみる。

雪捨て場になっている鹿渡駅前の駐輪場

町民 鹿渡駅前の駐輪場が雪捨て場になっている。

議会 当局に伝える。(琴丘支所)

町からの回答 雪捨て場にならないよう現地を常に監視する。また、隣接する町道と併せて除雪する。

道路側溝に蓋を

町民 山谷方面、新屋敷方面の道路の側溝に蓋がない。通学路でもあり設置すべきだ。

議会 自治会からも要望がでていると思うので、確認する。

高速道路の整備のしかたについて

町民 既設の高速道路と新たな計画道路との間を、二ツ井インターから国道を改良して繋ごうとしているが、新設道造って直接繋がないと意味がない。

議会 議会として何ができるのか、町と相談をしてみる。

議員選挙の時期の変更を

町民 議員選挙の時期を今より早くしてほしい。

議会 今後、全議員で協議していくことになると思う。

議会の模様をネットで公開しては

町民 議会中継をインターネットで公開してはどうか。

議会 検討する。

マレットゴルフ場はどうするの

町民 平成29年9月の全国健康福祉祭(ねんりんピック)でマレットゴルフ場が活用されると聞いているが、公民館跡地利用の関係でそのマレットゴルフ場が縮小されるということはあるのか。

議会 現在縮小する話が出ていない。

懇談会の報告はどうするのか

町民 今回の懇談会のまとめや、町民への報告はどうするのか。

議会 議会広報で報告する。当局への要望は議会が

まとめて申し送りする。

土・日・祭日にも町民バスの運行を

町民 上岩川の町民バスはたくさん利用しているが、土日祭日が運休で買い物に不便なので運行してほしい。

議会 当局に提言する。

町からの回答 町民バスを利用される方は、通院や買い物、公共機関への往復に利用される方が多いと理解している。

土日祭日の運行については、病院や公共機関が休みのため利用者が平日よりも多く見込めないことから運行していないことを理解願いたい。

町民バスの運行を高屋敷方面にも

町民 町民バスは上岩川、鯉川路線だけか。高屋敷方面にも運行してほしい。

議会 当局に提言する。

町からの回答 公共交通会議でも意見をいただいているところであり、今後、議論を深め、公共交通のあり方について検討して行く。

林道を復旧してほしい

町民 上岩川の林道が荒れて通れなくなっているの

で、視察をしてほしい。また、昨年の水害で壊れた林道がそのままになっているがどうするのか。

議会 6月定例議会では林道災害復旧工事費(琴丘稜線・羽根川線・井戸下田線・第一百川線)が補正されており、まもなく着工される予定である。

アメリシロ防除機械を貸してほしい

町民 アメリシロ駆除の機械は貸してくれるのか、薬剤はどうか。

議会 機械は貸出している。薬剤は無料配布される。

上岩川地区の消滅が心配

町民 上岩川地区は世帯数が少なくなっており、地域の消滅が危惧されるが、対策はあるのか。また、国からは予算が来ているのか。

議会 具体的な対策は取られていない。

配達・集金人などの配置を

町民 地域には町の広報などの配布や赤い羽根の募金をはじめとしたいいろいろな集金があるが、集落には老人ばかりで大変である。町で何とかしてほしい。

議会 当局に提言する。

町からの回答

行政連絡員の役割については、単なる行政文書の配達員ではなく、行政と住民とのパイプ役として、災害時等における情報伝達等の役割なども担っていただくことになっている。このような趣旨を理解いただき、今後とも協力をお願いする。

なお、集金後、町への届けが困難な場合は、近くの役場職員にお願いするなど協力をお願いする。

また、町でお願いしている募金等については、徴収を強制させないことなど行政連絡員の負担とならないような依頼の仕方を、担当課において徹底させたいと考えている。

職員の対応が不十分

町民 建物が新しくなっただけの受付に行けば良いのか分からない。職員の接遇が不十分ではないか。

議会 当局に提言する。

町からの回答 接遇が不十分だという評価については真摯に受け止め、所属長を通して改善を促したいと思っています。

琴丘総合支所では、来庁者に対し受付等が一目わかるように、各係りの大型

プレート看板を設置しているが、さらに椅子の裏側に各受付の内容がわかるような案内板を設置する。引き続き、職員の迅速な対応を行うよう努めて行く。

元気づくり事業の継続を

町民 増浦自治会で元気づくり事業を3年やってきた。今後も継続させてほしい。

神社の修繕にも支出できるようにしてほしい。

議会 当局へ提言する。神社はむずかしい。

町からの回答 平成27年度以降の事業については、現在検討中である。

神社の修繕は、町の支出の対象にならない。

上岩川生活改善センターの改築は

町民 上岩川センターの改築はいつごろなのか。

今のままでは避難所として利用できない。

議会 当局へ提言する。

町からの回答 三種町公共施設再編計画に基づき、老朽化に伴う上岩川生活改善センターの改築・立地条件など、旧上岩川小との統廃合等含め、検討・協議をし

て行く。

ため池の復旧を

町民 ため池が災害のまま放置されている。雨が降ると土砂が三種川に流れる。対応してもらえないか。

ため池周辺の農地も崩れたりしている。

県から見てもらったが対応してくれない。

議会 町と産業建設常任委員会に申し送りする。

その他の質問

○当局と議会が一体となつて、町の諸問題を解決してほしい。

○各会場で、今後も、この懇談会を継続してほしいという意見があった。

山本地域

国民文化祭はどのような内容か

町民 国民文化祭はどのような内容か。予算は多額だが、良いことだと思う。

議会 歌舞伎は10/18、19日に山本体育館、歌舞伎会館で公演される。

また、キルトフェステバルは、10/4、10日の日程

で同体育館とふるさと文化館で行われる。

高校通学助成、給食費の未納について

町民 高校通学助成は行っているか。また、給食費の未納はあるか。

議会 高校通学に対する助成は行っていない。

給食費の未納はある。なお、在籍している3人目以降の生徒の給食費は無料である。

三種川改修工事を早期に

町民 県は三種川改修工事は採択になってから20年か

かると言っているが、議会からも工事が早く進むように、極力力添えをお願いしたい。

議会 三種川の改修と県道の拡幅については山本地域振興局と8月11日に話し合いがあるのでその時に強く要望していきたい。

介護サービスを受けていない人に特典を

町民 介護のサービスを受けていない人には、何か恩恵があっても良いのではないか。

例えば、商品券、温泉入

浴券を配布するとか。

議会 当局に要望があったことを伝える。

町からの回答 現在、要介護4・5の方を家族で介護している町民税非課税世帯

に対しては支援制度があるが、対象者全員への商品券等の配付については、予算面等を考慮すると、現時点では難しいものと考えている。

学校や保育所の統合はあるか

町民 現在、学校及び保育所の統合はどうなっているか。

議会 現時点では、町は中学校の統合は考えていないようだ。

町内に保育所は7カ所あるが、山本地域について合併を考えているようだ。現在、町から具体的な提案はない。

ゆうばるは湯をかけ流しにしてはどうか

町民 湯の温度は高いはずなのに、なぜ湯を沸かしているのか。温泉かけ流しにできないのか。

議会 当局に伝えておく。

町からの回答 ゆうばるの温泉の温度は58.6度もあるの

で、加温していない。ボイラーを使用しているのは、浴室洗い場と脱衣場、トイレの洗面台に使用している温水をつくるためである。温泉かけ流しについては、かけ流しによって温泉の使用料と使った後の廃湯を流す下水道の使用料が高額になるので、経営的に困難な状態である。

若者の定住対策に特枠予算を

町民 定住化実現のため、若者が定住し易いように、特別な予算を組んではどうか。

議会 若者が定住するためには雇用問題が最も重要になる。これまでも議論してきたが、この地域の悲願である企業誘致については、今後取り組みでいく。

高校生議会の開催を

町民 若い世代の声を反映させるため、子ども議会その他、高校生を対象に議会開催を考えてはどうか。

議会 子ども議会は開催しているが、高校は考えていなかった。今後検討していきたい。

ジュンサイ圃場助成金を増額すべき

町民 ジュンサイ圃場整備助成金の助成額では、取り組む人は少ないと思う。助成額を見直したかどうか。（現行10aあたり3万円の助成）

議会 指摘の通り少ないと思うので、検討課題とした。

※琴丘地域でも同じ質問があった。

三種川監視カメラについて

町民 三種川監視カメラを設置するようだが、24時間監視するのか。

議会 通常終日監視はしないが、24時間監視が可能となっている。

危険水路に蓋を

町民 通水路になっている大町地区の水路に蓋をけないと危険である。

議会 水路の管理者の確認や、修理の必要性などについて調査したい。

議会と家業、どちらが優先

町民 議会と家業のどちらを優先するのか。

議会 当然議会を優先する。

全議員が一般質問を

町民 4年に1回くらいは全議員が一般質問したらどうか。

議会 その期待感はあるが、議会として強要はできない。

山本総合庁舎建設をあと押し

町民 山本総合庁舎建設について、町長は前向きに検討すると言っているが、議会としても後押ししてほしい。

議会 その必要性は感じているので、今後議論していく。

新八竜住宅と家賃の滞納について

町民 新八竜住宅の屋根の改修とあるが築何年であるのか。家賃を滞納している者がいると聞くがどうなっているのか。入居するとき契約があるはず、滞納者には退去を勧めているのか。この内容の結果についてはどう知らせてくれるのか。

議会 築24年経過している。入居の際は保証人を付けている。滞納があった場合は保証人にも催促している。

町民 速やかに協議会を開いて、町民にその結果を知らせてほしい。

議会 今回の懇談会の結果を集約して議会広報等により回答する。

国民健康保険税の滞納者への対応は

町民 国民健康保険税の収納率は何%か。また、滞納者への処置はどうしているのか。

議会 収納率は95.2%である。悪質な滞納者には資格証明書が発行されることになっている。

上水道の整備を強く要望する

町民 旧山本町金岡地区には上水道がなかなか来ない。町に話しても予算がない、加入者が少ないといわれ今に至っている。地下水に頼るにも保健所の許可が取れない。健康面、環境面を考えれば、お金どころの話ではない。強く町、議員にも要望する。

議会 この問題は何年も前から課題であり、人命に関わることで、当局へ要望する。

町からの回答 水道事業

は、使用者の料金収入で経営されており水道加入者が少ないと経営そのものが成り立たなくなる。

仮に、金岡地区の水道を整備して、平成21年度にアンケート調査した加入率で料金設定をした場合、水道使用料は膨大になると見込まれる。以上のことから金岡地区水道事業の着手には厳しいものがあり、当面は水道未普及地域整備費補助金で対応したいと考えている。

基盤整備等の国の補助金を返したのなぜか

町民 基盤整備、暗渠排水事業に対する国からの補助金1億7千万円を、工事事業者がいなかったため返したと聞いている。農林課の対応に問題があったのではないのか。議会でもしっかりとチェックしてほしい。

議会 当局側の言い分としては、基盤整備を計画した農家はいたが、その事業を受ける工事業者がいなかったためと言っている。また、返納は県の指導によるものだとも言っている。

町道の整備をお願いする

町民 金岡小学校後ろの町道の整備をお願いしたところ、砂利を提供するので自治会で敷いてくれと言われた。また、砂利を運ぶトラックが狭くて入れないので、自治会で道路にかかる枝を伐採してくれと言われた。町道なのになぜ直してくれないのか。町道整備事業で予算化していると思うので直してほしい。

また、農道にかかる橋が大雨で壊れたので直してほしい。町へ要望書も出している。

議会 当局へ要望する。

町からの回答 当路線については、以前から町で補修材を運び、地元関係者が協力して補修整備している路線であり、今後も同様をお願いする。

補修材運搬時に支障となる木の枝等については、所有者の承諾を得てから町で伐採するので、承諾を得る際には自治会の協力をお願いする。

農道に架かる橋については、復旧することとして、現在施工方法等調査中である。

赤線・青線の払い下げ要望

町民 赤線、青線の払い下げの要望書を県に出してほしい。(赤線Ⅱ官地、道路青線Ⅱ水路)

議会 当局へ要望する。

町からの回答 法定外公共物について、水路や道路の形態で残っているものについては国から町に譲与され、町で管理している。ただし機能を喪失しているもの(現地に水路や道路の形で残っていないもの)については国の財務局が管理している。

その他の質問

○森岳温泉の下にバス停留所をつくってはどうか。

○「森岳温泉」や「ゆめろん」などもっとPRすべきではないか。

○元気づくり事業とは。
○下水道料金が上がった。
メーター検針は職員が回っているのか。

八竜地域

鵜川連合自治会への国庫支出金について

町民 鵜川連合自治会への

国庫支出金は補正予算に計上されているのか。

議会 そうである。国から一旦町に入ってから当該自治体に支出される。

議員の選挙公約を町民に知らせるべき

町民 今回の議員の選挙が無投票になったため、町民は各議員の選挙公約を知らない。これを広報等で知らせるべきではないか。また、4年後の任期終了時には公約の実行状況を議会だよりなどで知らせるべきではないか。

議会 選挙公約は選挙公報に記載され町民に配布されるが、今回は無投票の為に配布されなかった。これは選挙管理委員会の取り決めであるものではないか。提案については、議会広報編集特別委員会に諮ることとする。

三種川を浚渫してほしい

町民 久米岡地区にある三種川の中州を浚渫してほしい。三種川の上流ばかり治しても下流を治さなければ水害は治まらない。

議会 県に伝えているが、

なかなか進まない状況にある。8月11日に三種川河川改修促進協議会があるので協議会を通じて要望(要望書で)する。

大曲の国道拡幅について

町民 大曲の国道拡幅の計画があるようだが、工事によっていろいろな障害が発生することから、自治会でも国交省に善処を要望している。しかし、なかなか聞き入れてもらえないので、議会からも要望してほしい。また、拡幅にともない丁字路の沼と墓所下の沼の半分を埋め立てると聞いているが、残りの半分はどう利用するのか。あの沼はため池の役目をしており、なくなると大雨の際に災害の危険性があるので、自治会としては埋め立てに反対である。また火災の際には防火用水の役目もある。あの地域には消火栓しかないため沼がなくなると消火活動に支障が出る。

議会 まだ具体的な話は聞いていない。議会として皆さんから要望があれば協議の場をもつようにしたい。

人口に対する議員定数は

町民 今回、議員定数20人から18人になったが、人口に対して定数はどうなのか。

議会 以前規定されていた法定定数を下回っているが、今後人口減などもふまえ議会で協議していく。

懇談会の開催時期は、これで良いか

町民 懇談会の時期について、暑い時期はなかなか集まらないのではないか。このとおり会場も暑い。また、日が長いので仕事も遅くまでしている。

議会 参考までいつ頃の開催が良いと思うか。また回数。

町民 冬期間が良いと思う。稲刈りが終わったあたりで、毎年やったほうが良い。

ゆめろんの改修について

町民 ゆめろんの改修があるようだが、赤字の原因はなにか。燃料費で赤字のようだが風力発電などを利用したほうが良い。議会でも考えたかどうか。

議会 当局は省エネを考えているようだが、まだ具体的な提案はされていない。

ペレットストーブの助成理由は

町民 ペレットストーブの助成は、どういう考え方によるのか。

議会 ペレットを作っている会社が三種町に2社あるが、それに対する企業支援である。どこの市町村も行っている事業である。

鵜川地区館の改修はあるのか

町民 鵜川地区館の改修があるようだがどうか、今日の集まりが悪いのは設備のせい。

議会 町長は鵜川、山本、浜田等の公民館を直さなければならぬと言っている。

学校再編はどうなる

町民 学校再編はどうなるのか。

議会 学校再編計画は答申されているが実行できずにいる。先に、森岳、金岡、下岩川の小学校統合が考えられる。

将来的には、中学校は1校、小学校は旧各地域に1校になるのではないかと。

バスの補助金は必要なのか

町民 バスに人が乗っていない。バスは補助金をやらないと運行できないのか。

議会 高齢者が多く、車のない人もいるので無くするわけにはいかない。

空き家対策は

町民 空き家対策としては、どういふものがあるのか。

議会 町では解体費用を30万円まで補助している。空き家条例があり行政代執行することができる。

ドラゴンフレッシュセンターへの補助金について

町民 ドラゴンフレッシュセンター加工施設建設に係わる町補助金の中の、NTT電線移設分20万円は町に返還されたか。

議会 補助金の実績内容が9月決算審査に付されるので、その時点で確認をする。

〔確認結果〕 施設建設費がかなり増ししたことを理由に、電柱移設分20万円を施設費の助成に充当したとのことであったが、この処理の仕方には問題が残る。

※琴丘地域と山本地域でも同じ質問があった。

一般質問をする議員数について

町民 定例会での一般質問者は少なくないか。

議会 他町の議会から比べて少なくないと思う。なお地域の意見は委員会審議などで反映させている。

地域ごとに避難訓練を

町民 自然災害、津波ハザードマップは配布しているが、もっと地域ごとに避難訓練をすべきだ。町外から来る人も安心して町内に滞在できる環境づくりをめざしてほしい。

議会 ハザードマップは良く出来ていると思う。訓練を各地域で実施するように町へ提言をしていく。

町からの回答

避難訓練は、全町一斉に複数の地区で開催したいところであるが、避難訓練を行う場合、事前準備を含めて、警察署や消防署の協力並びに交通指導隊や消防団の動員体制等が必要となる。

そのため、町では毎年1回、旧町単位に順次行っているが、希望自治会がある場合は、優先して実施したいと考えている。また、自治会独自で実施したい場合は、関係機関とも協議の上、協力したいと考えている。

生活支援員設置事業とは

町民 重点政策事業で生活支援員設置事業とはどういう内容か。

議会 生活支援の必要な児童生徒を支援するものである。支援員17名を見ている。琴丘中学校を除く各小中学校に配置されている。

農耕地の再生を

町民 農耕地（遊休地、耕作放棄地）を再生できるようにしてほしい。

議会 砂丘地の休耕地だけでなく、町全体の休耕地、耕作放棄地等の有効活用を図るため、中間管理機構を立ち上げた。三種町農業公社、農林課、農業委員会構成される検討委員会で意見を集約し、来年の3月にスタートすることになっており、国、県、三種町と一体となって進めていく。

人口減少についての町への提言

町民 人口減少について町に対する思いを聞かせてもらいたい。

議会 移住、定住化支援策をやってもらえるように当局に提案をしていく。

町からの回答

町では、定住奨励金や移住希望者への相談や対応などを行ってきしており、今後も継続して実施していく。

ボランティア活動への支援要請

町民 ボランティア団体が活動するための支援をお願いしたい。

議会 できるだけの支援はやってきている。

浜口地区館の改築要望

町民 浜口地区館が古くなってきている。

議会 当局へ伝えておく。

町からの回答

浜口地区館は昭和30年築で、地域活動の拠点として多目的に利用されているほか、児童クラブとしても利用されているが、老朽化が激しいため、児童クラブの機能を切り離した上で、集会所としての建て替えを検討することになっている。

週2回にしてほしい。（今まで通りでよいとの意見もあった。）

議会

当局に要望しておく。

議員定数・報酬について

町民 議員定数や報酬についてどう思っているか。

議会 厳しい意見があることは承知している。これからも開かれた議会づくりに努めていく。

企業誘致は思い切って

町民 企業誘致は思い切った誘致活動をするべきではないか。

議会 6月議会では企業誘致に関する条例の改正があった。それなりの期待ができると思っている。

その他の質問

○町監査委員に公認会計士をいれてはどうか。

○保育園、幼稚園が町立と民間とがあるが、早く一本化すべきではないか。

○釜谷地区のため池の件。
○黒鉾排水の件。

次代を担う企業

～シリーズ①～



株式会社 極光

代表取締役社長

渡部 慶 哲

3年前の東日本大震災の日、私はパナソニックフェアに参加していました。

その日突然襲った大きな揺れ、電気の止まった暗闇の街、エネルギーの無い不安。エネルギーの必要性。その体験が今にして思えば再生可能エネルギー関連会社設立の原動力になったと思います。

新会社「株式会社極光」は株式会社ベデンキのグループ会社として平成25年6月、資本金1千万円、再生可能エネルギー事業（太陽光、風力、バイオマス等）を扱う会社として設立。

計画面積、3万4千394平方メ

ートルに、東北でも初めてとなる秋田杉を使った木製架台に、太陽光パネル6千384枚を設置。環境負荷の少ない秋田杉を架台とした大規模ソーラーとしては、東北初となる発電所です。農振除外等の壁もありましたが、現在、三種町森岳上台にメガソーラー発電所（ソーラーガーデンみたね）として8月より東北電力に売電開始しました。再生可能エネルギー事業は、社会奉仕性の高い事業なので、地域活性化を考慮しながら力を入れていきたいと思っています。又、進化するテクノロジーを見極め、有効活用し、時代の追い風に乗り、町の再生可能エネル



6,384枚のパネルを設置したメガソーラー発電所

ギー事業のパイオニアとして、もっと大きなエリアで躍進出来る様努力してまいります。最後に「極光」という社名は、私の妻の祖父（91歳）に付けてもらいました。戦争、大震災を体験した方から貰った名前です。三種町の皆さん、共に頑張りましょう。

編集後記

三種町の議会議員が今年の7月に改選になり、議会広報をつくる役割の編集委員も新たに編成されました。

編集委員は私を含めて6人です。

今回の35号はその新メンバーによる最初の広報です。

特に、今回の紙面の特徴は、7月に行われた「町民と議会との懇談会」で出された町民の方々の意見や提言、要望などと、それに対する議会側と町の回答内容を載せたことです。

懇談会は、議会としてははじめての取り組みですが、それぞれの地域に密着した問題についての住民の方々の意見交換を通じ、議員としての役割と責任の重さを改めて認識する機会となりました。

広報の紙面づくりの経験は多くはありませんが、「読みやすく、わかりやすく」を目標にスタッフ一同研鑽を積んで行きたいと思っています。

秋の穫り入れも終わりに近づくにつれ、寒さも足早になってきました。

皆様、どうかご自愛のほどを。

清水 欣也 記

